



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社ロジネットジャパン
コード番号 9027 URL <http://www.loginet-japan.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 輝美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画・広報担当部長 (氏名) 齋藤 恭祐

TEL 011-251-4112

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	12,604	2.8	478	94.8	491	111.0	408	79.3
28年3月期第1四半期	12,258	2.1	245	—	232	—	227	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 368百万円 (46.9%) 28年3月期第1四半期 250百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	33.44	—
28年3月期第1四半期	18.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
29年3月期第1四半期	31,314		7,461	23.4			599.44	
28年3月期	31,320		7,216	22.6			579.56	

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 7,318百万円 28年3月期 7,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	—	—	10.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,700	2.8	910	35.7	900	34.7	580	△15.2	47.51
通期	55,000	3.3	1,860	19.2	1,850	18.6	1,200	△5.7	98.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	14,021,363 株	28年3月期	14,021,363 株
29年3月期1Q	1,812,593 株	28年3月期	1,812,593 株
29年3月期1Q	12,208,770 株	28年3月期1Q	12,211,595 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績及び計画等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策の後押しや比較的好調な企業業績などにより個人消費も緩やかに回復し、概ね安定的に推移いたしました。しかしながら、中国などの新興国経済の減速懸念や英国のEU離脱決定など、海外情勢の不確実性により先行きは不透明な状況が続いております。また、物流業界においてはドライバー不足問題が一層深刻化を増すなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、大きく変化する社会情勢や経営環境に対応するため、本年 3 月に策定した中期経営計画に基づき、新たな事業分野への参入や本州地区での積極的な営業展開をすすめる一方、輸送運用の改革や組織体制の再構築、適正料金の収受をすすめ、成長が見込まれる領域での事業拡大と新たな体制づくりを進めてまいりました。また、西日本地区においては組織再編のシナジー効果を追求するなど、さらなる経営基盤の強化にむけた施策を推進してまいりました。

その結果、札幌通運グループにおいては、北海道地区では人口減少や個人消費の回復遅れで物量が伸び悩み、業績が振るわなかったものの、本州地区では既存事業の取扱い増に加え、新たな事業分野の引き合いも増えて新規分野の取扱い量が増加したことなどにより、営業収益は前年同期比 4 億 3 千 9 百万円増 (+5.2%) の 88 億 5 千 8 百万円となり、同セグメント損益についても増収効果による増益と燃油価格の安定的な推移により、前年同期比 1 億 5 百万円増 (+66.9%) の 2 億 6 千 3 百万円となりました。

一方、中央通運グループにおいては、鉄道利用運送部門が堅調に推移しましたが、建設運輸部門の伸び悩みにより、営業収益は前年同期比 1 千 6 百万円増 (+1.0%) の 15 億 9 千 5 百万円、セグメント損益については、前年同期比 1 千 4 百万円増 (+16.7%) の 1 億 2 百万円となりました。

また、ロジネットジャパン西日本グループにおいては、前年度より抜本的な事業の再構築を行っておりますが、営業戦略については採算性重視の方向に大きく舵を切り、また事業所配置や組織体制も一から見直しを行ってまいりました結果、営業収益は前年同期比 1 億 3 千 7 百万円減 (Δ 6.3%) の 20 億 3 千 3 百万円となりましたが、セグメント損益につきましては、事業再構築の効果に加え、本年 4 月に実施した組織再編のシナジー効果もあって、前年同期比 1 億 1 千万円増 (+807.4%) の 1 億 2 千 4 百万円となりました。

なお、セグメント情報につきましては、平成 28 年 4 月 1 日に実施した組織再編（札幌通運株式会社の中部以西の事業を分割し、株式会社ロジネットジャパン西日本に統合）に伴い、従来「札幌通運グループ」に属していた札幌通運株式会社の中部以西の事業を「ロジネットジャパン西日本グループ」に移管しており、前第 1 四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

これらの結果、ロジネットジャパングループ全体の営業収益は、前年同期比 3 億 4 千 5 百万円増 (+2.8%) の 126 億 4 百万円となりました。

利益面につきましては、株式会社ロジネットジャパン西日本の業績回復、札幌通運株式会社の本州地区での増収による利益増、原油価格の安定推移などにより、営業利益は前年同期比 2 億 3 千 2 百万円増 (+94.8%) の 4 億 7 千 8 百万円、経常利益は前年同期比 2 億 5 千 8 百万円増 (+111.0%) の 4 億 9 千 1 百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 1 億 8 千万円増 (+79.3%) の 4 億 8 百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第 1 四半期末の総資産は、前期末から 6 百万円減少し、313 億 1 千 4 百万円となりました。

このうち、流動資産は営業未収入金及び売掛金の減少により 9 千 2 百万円減少し、123 億 2 千 7 百万円となりました。また、固定資産は車両の取得などで 8 千 6 百万円増加し、189 億 8 千 7 百万円となりました。

当第 1 四半期末の負債は、前期末から 2 億 5 千 1 百万円減少し 238 億 5 千 2 百万円となりました。

このうち、流動負債は短期借入金の増加などにより 2 億 4 千 5 百万円増加し、180 億 6 千 3 百万円となりました。また、固定負債は長期借入金の返済が進むなど 4 億 9 千 6 百万円減少し、57 億 8 千 8 百万円となりました。

これらの結果、純資産は 2 億 4 千 4 百万円増加し 74 億 6 千 1 百万円となり、純資産から非支配株主持分を控除した後の自己資本比率は 23.4% となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成 28 年 5 月 13 日発表値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,929,329	3,939,222
受取手形	871,106	820,317
営業未収入金及び売掛金	6,377,605	6,076,403
たな卸資産	59,739	65,341
繰延税金資産	93,626	105,189
その他	1,095,853	1,329,683
貸倒引当金	△7,994	△9,148
流動資産合計	12,419,266	12,327,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,648,494	3,589,963
機械装置及び運搬具（純額）	4,416,215	4,644,443
リース資産（純額）	994,605	970,874
土地	5,971,093	5,971,093
その他（純額）	304,996	323,346
有形固定資産合計	15,335,405	15,499,721
無形固定資産		
その他	209,457	210,730
無形固定資産合計	209,457	210,730
投資その他の資産		
投資有価証券	1,031,887	1,071,773
繰延税金資産	194,962	195,846
差入保証金	1,638,669	1,526,439
その他	526,427	514,207
貸倒引当金	△35,785	△31,619
投資その他の資産合計	3,356,160	3,276,647
固定資産合計	18,901,023	18,987,099
資産合計	31,320,290	31,314,107

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	918,203	839,317
営業未払金及び買掛金	4,820,338	4,565,688
短期借入金	8,769,118	9,683,591
リース債務	216,749	211,575
未払法人税等	509,872	97,281
役員賞与引当金	60,675	—
その他	2,523,416	2,666,100
流動負債合計	17,818,373	18,063,553
固定負債		
長期借入金	4,594,484	4,153,023
繰延税金負債	211,515	210,818
リース債務	797,913	780,535
役員退職慰労引当金	170,230	170,450
退職給付に係る負債	200,939	206,272
資産除去債務	77,465	77,816
その他	232,681	189,973
固定負債合計	6,285,229	5,788,889
負債合計	24,103,603	23,852,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	567,929	567,929
利益剰余金	6,250,215	6,536,387
自己株式	△534,713	△534,713
株主資本合計	7,283,431	7,569,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△207,669	△251,163
その他の包括利益累計額合計	△207,669	△251,163
非支配株主持分	140,924	143,223
純資産合計	7,216,686	7,461,664
負債純資産合計	31,320,290	31,314,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月 30 日)
営業収益	12,258,894	12,604,568
営業原価	11,576,791	11,677,969
営業総利益	682,103	926,598
販売費及び一般管理費	436,489	448,196
営業利益	245,614	478,402
営業外収益		
受取利息	3,370	3,088
受取配当金	19,021	27,046
寮収入	9,388	10,591
その他	11,666	28,605
営業外収益合計	43,446	69,332
営業外費用		
支払利息	25,588	22,229
寮支出	20,952	22,739
その他	9,772	11,713
営業外費用合計	56,313	56,682
経常利益	232,747	491,052
特別利益		
投資有価証券売却益	122,679	—
特別利益合計	122,679	—
特別損失		
固定資産除売却損	2,389	1,768
投資有価証券評価損	10,000	—
特別損失合計	12,389	1,768
税金等調整前四半期純利益	343,037	489,284
法人税、住民税及び事業税	123,830	88,445
法人税等調整額	△13,520	△10,804
法人税等合計	110,310	77,641
四半期純利益	232,727	411,642
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,089	3,383
親会社株主に帰属する四半期純利益	227,637	408,259

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月 30 日)
四半期純利益	232,727	411,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,962	△43,493
その他の包括利益合計	17,962	△43,493
四半期包括利益	250,689	368,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,603	364,765
非支配株主に係る四半期包括利益	5,086	3,383

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自平成27年 4 月 1 日 至平成27年 6 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	ロジネット ジャパン西 日本グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	8,419,026	1,579,629	2,170,894	12,169,551	89,343	12,258,894
セグメント間の内部営業収益又は振替高	542,184	98,195	193,183	833,563	613,096	1,446,660
計	8,961,210	1,677,825	2,364,078	13,003,114	702,440	13,705,555
セグメント利益	157,662	87,580	13,738	258,981	465,478	724,460

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は470,318千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	258,981
「その他」の区分の利益	465,478
受取配当金の消去	△470,318
その他の調整額	△8,528
四半期連結損益計算書の営業利益	245,614

II 当第 1 四半期連結累計期間（自平成28年 4 月 1 日 至平成28年 6 月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	ロジネット ジャパン西 日本グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	8,858,149	1,595,927	2,033,753	12,487,831	116,737	12,604,568
セグメント間の内部営業収益又は振替高	475,357	107,000	203,263	785,621	627,099	1,412,721
計	9,333,507	1,702,928	2,237,017	13,273,452	743,837	14,017,290
セグメント利益	263,094	102,196	124,668	489,960	467,076	957,037

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は472,290千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	489,960
「その他」の区分の利益	467,076
受取配当金の消去	△472,290
その他の調整額	△6,344
四半期連結損益計算書の営業利益	478,402

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は平成28年 4 月 1 日をもって西日本・中部地区での事業シナジー追求と総合物流の営業力強化、またグループのガバナンス体制の強化を目的として、札幌通運株式会社の中部以西の事業を分割し、株式会社ロジネットジャパン西日本に統合する組織再編を行いました。

当第 1 四半期連結会計期間より、この組織再編に伴い、従来「札幌通運グループ」に属していた札幌通運株式会社の中部以西の事業を「ロジネットジャパン西日本グループ」に移管しております。

なお、前第 1 四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。